

研究業績

当研究所の研究業績は、「自己点検評価報告書」にまとめられており、
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/reports/tenken2006.pdf>にて公開されている。以下は平成18年度版の目次である。内容は上記のオンライン版報告書を参照されたい。

平成18年度自己点検評価報告書目次

序

1. 研究所の理念	
1.1 研究所の理念	1
1.2 研究所の目標	1
2. 研究活動	
2.1 研究組織	3
2.2 研究内容	6
2.2.1 各分野の研究概要	6
2.2.2 全国共同利用研究	9
2.2.3 生存圏萌芽ミッションプロジェクト	34
2.2.4 生存圏ミッションプロジェクト	45
2.2.5 21世紀COEプログラム	57
2.2.6 研究ユニット等との連携	58
2.3 研究業績	59
2.4 招待講演など	86
3. 教育活動	
3.1 大学院・学部における教育目標	129
3.2 教育内容(特論など)	130
3.3 教育活動の成果	131
4. 教員組織	
4.1 人員配置	135
4.2 採用	135
4.3 人事交流	136
5. 管理運営	
5.1 研究所の意思決定	139
5.2 研究所の組織	158
6. 財政	
6.1 予算	161
6.2 学外資金	161
7. 施設・設備	
7.1 施設設備の維持管理	163
7.2 施設設備の将来計画	164

8. 学術情報	
8.1 研究所の方針と組織	169
8.2 生存圏データベース	169
8.3 図書管理	171
8.4 京都大学統合情報通信システム (KUINS) との関係	171
9. 国際学術交流	
9.1 総長裁量経費による国際学術交流事業	173
9.2 国際学術協定 (Memorandum of Understanding: MOU 協定)	174
9.3 国際会議・国際学校	175
9.4 研究者の招へい	176
9.5 国際共同利用	177
10. 社会との連携	
10.1 研究所の広報・啓蒙活動	179
10.2 民間等との共同研究・受託研究	188
10.3 教員の学外活動	190
11. 評価	197